

2018年12月21日

〈報道関係各位〉

一般社団法人 日本化学工業協会

「会員企業のSDGs先進事例」の発信について

一般社団法人 日本化学工業協会(住所:東京都中央区、会長:淡輪 敏(三井化学(株) 社長)、以下「日化協」)は、本日12月21日、国連のSDGs(持続可能な開発目標)達成に貢献している会員企業の先進事例を取りまとめ、ウェブサイトで公開しました。

先進事例は、日化協のウェブサイト内に、SDGsに対応したコンテンツを新たに立ち上げ、その中で「SDGs事例集」として発信します。会員企業がSDGs達成に向け貢献している事例を、担当する社員にインタビューして、事例を支える様々な活動を盛り込んだ「読み物」にしています。

今後、日化協では、会員企業をはじめ多くの方に、SDGs推進に向けて有効に活用していただき、また事例を広く社会に深く知っていただけるように、毎月1~2件の事例を順次公開し、産業界のSDGs事例集の一つのモデルになるよう目指してまいります。

<https://www.nikkakyo.org/sdgs/>

日化協は、環境問題、資源・エネルギー問題、食糧問題、健康や介護・医療分野、社会インフラへの貢献などに対応した、会員企業の製品や事業活動にフォーカスして、事例集を作成しています。事例展開の歩みや技術特徴などもヒアリングすることで、SDGs達成に向け示唆に富んだ事例になっています。

第一弾として取り上げる三菱ガス化学の事例では、食品の保存期間の延長に加え、SDGsの「2.飢餓をゼロに」などに貢献している脱酸素剤「エージレス」を取り上げます。営業と顧客の対話が「エージレス」のラインナップを増やして事業拡大し、41の国と地域に展開し貢献していること、国内外の生産工場での従業員の安全などに配慮した取り組み、「エージレス」を使用した顧客の経済的効果、担当者の仕事への情熱などをインタビューし、写真、図表を使いながら解説しています。

日化協は、昨年5月、革新的な技術と製品(イノベーション)と、環境等の問題解決力(ソリューション)を両輪に、SGDsに貢献するためのビジョンである「持続可能な開発に向けての化学産業のビジョン」を公表しました。そして、ステークホルダーに対し、化学産業のSDGsへの貢献に関する情報の発信、理解の促進を図ることを活動方針の一つとしました。

今後とも、社会の課題に対するソリューションプロバイダーとして、新たな価値の創造により持続可能な社会構築に貢献してまいります。

以上

